

令和5年第1回議会定例会における行政概要報告書

(令和4年11月19日から令和5年2月17日まで)

1 市新年賀詞交歓会について

1月11日、中央公民館において、市長、市議会議長、市商工会長及び常陸農業協同組合代表理事組合長が発起人となり「市新年賀詞交歓会」を開催し、約180人が参加しました。

今年は、歓談の時間を設けての開催となりました。

2 那珂ふるさと大使について

1月11日、中央公民館において、情報交換会を開催し、6人の大使が参加しました。大使の皆様から活動の報告や、それぞれの専門や見識を生かしたご意見をいただきました。

3 いい那珂マルシェ in IBARAKI sense (イバラキセンス) について

2月11日、12日の2日間、東京都中央区銀座にある「IBARAKI sense」において「いい那珂マルシェ in IBARAKI sense」を開催しました。今回、那珂市産のかぼちゃをテーマに、かぼちゃのカタラーナ、かぼちゃのジャム、かぼちゃのシフォンケーキ、かぼちゃの生パスタのほか、店内カフェにてかぼちゃのラテを販売するなど、かぼちゃ商品を中心に展開しました。あわせて、市特産品ブランド認証品の高級干し芋「EPISODE XIII」や「ひまわりオイル」なども販売しました。店内ではつるしびなの展示のほか、かぼちゃのカタラーナとかぼちゃのジャムの試食や、「フェルミエ那珂」による生産現場からの産品紹介の動画を放映し、市のPRと販売の促進を図りました。

4 「北朝鮮人権侵害問題啓発パネル展」について

11月24日から12月1日まで、市役所本庁舎1階ロビーにおいて、北朝鮮当局による人権侵害問題に関する認識を深めるため、「北朝鮮人権侵害問題パネル展」を開催しました。

また、パネル展の開催にあわせて、「拉致被害者の生存と救出を信じる意思表示」を表すブルーリボンをイメージした青い旗を、国旗・市旗と共に、市役所本庁舎前に掲揚し、周知を図りました。

5 移住・定住促進に係る取り組みについて

12月19日、「企業取材インターンシップオンライン報告会」を開催しました。参加した学生は、取材に協力していただいた市内企業のかたがたとの意見交換をとおし、市内を含めた就職先を考える力を養いました。取材を通して完成した冊子は、^{はたち}二十歳の集いで配布したほか、大学等に配布し県内外の若者へのPRに活かしてまいります。

12月22日、農政課と共同で「移住相談会&地域おこし協力隊募集セミナー」を行いました。ふるさと回帰支援センター（東京都）での対面とオンラインによるハイ

ブリッド形式で行い、多数の参加者の中から地域おこし協力隊の応募者2人を結びつけることができました。

また、首都圏の住民と移住定住の受け入れを希望する地方の自治体とのマッチングを図るため、1月15日に東京ビッグサイトで開催された「JOIN移住・交流&地域おこしフェア2023」に、いばらき県央地域移住・定住促進協議会の9市町村合同で参加しました。今回は、「いばらき県央VR移住体験ツアー」をVRゴーグルで楽しめる環境を整え、県央地区の移住PRを行ったほか、那珂市も構成市町村として移住相談を行いました。

さらに2月4日、メタバースを活用したバーチャル空間での初の移住イベントを行い、県内外からの参加者に対して、那珂市の魅力を伝えるプレゼンテーション等を行い、移住に向けた関係人口の創出を図りました。

6 茨城県議会議員一般選挙（那珂市選挙区）について

茨城県議会議員一般選挙（那珂市選挙区）を次のとおり執行しました。

選挙期日	令和4年12月11日
当日有権者数	45,811人
投票人員	18,658人
投票率	40.73%（平成30年12月執行 47.62%）

7 那珂市議会議員補欠選挙について

那珂市議会議員補欠選挙を次のとおり執行しました。

選挙期日	令和5年2月5日
当日有権者数	45,736人
投票人員	14,858人
投票率	32.49%（平成30年12月執行 47.37%）

8 那珂市長選挙について

令和5年2月5日執行の那珂市長選挙は、1月29日に告示され、届出のあった候補者が1人であったため、無投票となりました。

9 協まち・カフェの開催について

11月に菅谷地区、五台地区、瓜連地区の3地区で「協まち・カフェ」を開催しました。各地区のおまつりなどに合わせて開催し、多数の方にご来場いただきました。

10 協働のまちづくり推進フォーラムについて

11月23日、総合センターらぼーるにおいて、「協働のまちづくり推進フォーラム」を開催しました。菅谷地区まちづくり委員会と堀之内自治会、市民活動支援事業の採択を受けた南酒出城跡保善の会、NICE English Contest 実行委員会による事例発表の後、「持続可能な地域コミュニティの実現に向けて～ひとりひとりがリーダーシップを発揮する～」と題し、株式会社ヤマオコーポレーション代表取締役の鬼澤おにざわ

まさと
慎人氏を講師に迎え、基調講演を行いました。また、今年度より那珂市まちづくり協議会の提言により開始した「那珂市いいな^{はな}花壇コンクール」の表彰式もあわせて行いました。

11 おとう飯始めよう料理教室について

1 1月23日、中央公民館において、男性の家事・育児等への参画を推進するため、小学生のお子さんを持つお父さん^{はん}を対象に「おとう飯始めよう」料理教室を開催しました。参加した8組の親子は共に協力し、「韓国風ミニ海苔巻き」など3品を作りました。

12 多文化共生セミナーについて

1 2月4日、中央公民館において、多文化共生セミナー「ドイツパンを通して多文化を学ぼう」を開催しました。イギリス人の父とドイツ人の母を持ち、スイスで生まれフランスで育ったジェフ・ラッジさんを講師に迎え、ドイツパンを作りながら、多文化共生の難しさなどをお話しいただきました。

2月11日、ふれあいセンターよこぼりににおいて、ベトナム出身のグエンゴクランチさんを講師に迎え、多文化共生セミナー「食文化から考える、ベトナムと日本」を開催し、日本の食文化との違いなどについてお話しいただき、多文化共生の理解促進を図りました。

13 市原子力防災訓練の実施について

1 1月20日、原子力災害を想定した防災訓練を市民及び関係機関の参加により実施しました。

当日は、大規模な地震が発生し、東海第二発電所で全面緊急事態に至るという想定のもと、災害対策本部運営、住民情報伝達および本米崎地区の住民参加による避難先自治体である筑西市への広域避難などを行いました。

今回の訓練を通して、関係機関との連携に向けた経験を蓄積し、原子力防災体制の確立および現在策定中の市広域避難計画の検証と実効性の向上を図ってまいります。

14 東日本大震災について

市民の放射線に対する不安を解消するため、空間放射線量及び水道水の放射性物質濃度の測定を引き続き実施いたします。また、保育所や学校の給食食材及び市内で生産された農畜産物を検査し、食における安全の確保に努めています。

15 人・農地プラン座談会の開催について

8月19日から1月24日にかけて、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などにより、10年後の展望が描けない地域農業の在り方を、農業者等の話し合いにより地域の将来像を明確化する人・農地プランを作成するため、8地区で人・農地プラン座談会をワークショップ形式で開催しました。関係者155人が参加し、農地の集約、人材育成、補助制度の拡充等の意見を集約しました。

16 地域おこし協力隊（就農型）について

令和5年度から、さつまいも栽培やほしいも製造等の技術を習得し、将来の就農を目指すとともに、地域での交流を通し農業や地域の魅力を発信する活動を担う隊員について、「移住相談会&地域おこし協力隊募集セミナー」や現地見学会を実施し募集した結果、2人の応募があり1人を選定しました。

17 那珂市担い手確保・育成協議会MIRAIワークショップの開催について

2月14日、中央公民館において、就農支援アドバイザー、新規就農者及び就農希望者27人が参加し、笠間市農業委員の長谷川愛子様はせがわあいこによる「持続可能な農業を目指して」をテーマにした講演や、就農に関するワークショップを開催し交流を図りました。

18 静峰ふるさと公園イルミネーション2022の開催について

12月10日から12月28日まで、「静峰ふるさと公園イルミネーション2022」を開催し、延べ6,650人が来園しました。

19 特別企画展「那珂市の寺院と仏たち」開催について

10月29日から12月3日まで、歴史民俗資料館において、特別企画展「那珂市の寺院と仏たち」を開催しました。

旧銀山寺所有の「聖観音菩薩立像」しょうかんのんぼさつりゅうぞうは、胎内墨書たいないぼくしょに浅草寺との関連が記された貴重な展示品であることから、865人が来館しました。

20 公民館まつり2022について

11月26日、27日及び12月2日、3日の4日間、中央公民館において、「公民館まつり2022」を開催し、参加した21団体がステージや展示の発表を通して生涯学習の成果を披露したほか、体験講座を12講座実施しました。

また、障がい者就労支援事業所7団体によるバザーや各発表会場を巡るスタンプラリーを新たに実施し、内容の充実を図りました。

21 那珂市冬季駅伝競走大会について

12月4日、なかLuckyFM公園において、コロナ禍で中断していた「第60回市冬季駅伝競走大会」を3年ぶりに開催しました。各小・中学校代表、部活動代表、一般の計62チーム、310人が参加しました。

22 「家庭の日」図画・作文発表会並びに表彰式典について

12月10日、総合センターらぼーるにおいて、「家庭の日」図画・作文発表会並びに表彰式典を開催し、市内小中学校から図画493点、作文790点の応募があった中から作文の金賞受賞者による発表並びに図画・作文の入賞者の表彰を行いました。

なお、わかすぎ学園第四中学校9年生の図画作品は、公益社団法人茨城県青少年育成協会主催の「家庭の日」絵画・ポスターにおいて最優秀賞も受賞しています。

23 白鳥学園学校運営協議会（コミュニティ・スクール）SDGs講演会について

12月14日、白鳥学園学校運営協議会主催でSDGs講演会「いま私たちにできること～みんなが知れば必ず変わる～」を開催しました。

瓜連中学校7・8年生は対面で、瓜連小学校5・6年生はオンラインで参加し、講師の地球環境家谷口たかひさ氏から、SDGsが達成されたより良い未来を創るために児童生徒が今からできることについて話を聞きました。

24 季節展「正月飾り展」開催について

1月5日から1月15日まで、歴史民俗資料館において、季節展「正月飾り展」を開催しました。市民から寄贈された羽子板や破魔弓のほか、市内で活動する手芸グループが作製した干支の置物、古い着物や帯から作ったタペストリーなどを展示し、186人が来館しました。

25 二十歳の集いについて

1月7日、なかLuckyFM公園アリーナにおいて、「二十歳の集い」を開催しました。

式典は新型コロナウイルス感染症対策として二部制で行い、対象者499人中382人（76.6%）が出席しました。

26 第10回いばらきっ子郷土検定県大会について

2月4日、ザ・ヒロサワ・シティ会館において、「第10回いばらきっ子郷土検定県大会」が開催されました。初の県大会出場となった青遙学園第二中学校からは、代表として8年生3人が出場し、トーナメント方式による競技を通して、ふるさと茨城について理解を深めました。

27 那珂市落語会林家三平独演会について

2月4日、総合センターらぼーるにおいて、市文化協会及び公益財団法人げんでんふれあい茨城財団主催の「林家三平独演会」が開催され、265人が来場し、落語のほかU字工事の漫才を観覧しました。

28 第3回家庭教育学級合同学習会について

2月11日、総合センターらぼーるにおいて、「第3回家庭教育学級合同学習会」を開催し、143人が参加しました。茨城大学特命教授・常磐大学特任教授の柴原宏一氏の「私見！教員の魅力～親子のつながり～」と題した講演により家庭教育の必要性を学びました。

29 消防業務について

複雑・大規模化する災害に対応するための装備を備えた車両として、東消防署の消防ポンプ自動車1台を更新しました。

消防訓練指導については、事業所や学校等を対象として19回行い、1288人が参加し、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。

また、応急手当普及のため救命講習会等を9回行い、220人が修了しました。
火災出場件数については4件、救急出場件数については711件となっています。
1月8日、なかLuckyFM公園において消防出初式を行い、消防関係者420人が参加し地域防災への新たな決意をしました。

令和5年2月28日

那珂市長 **先崎 光**